

令和6年度工事総合評価（中間報告）

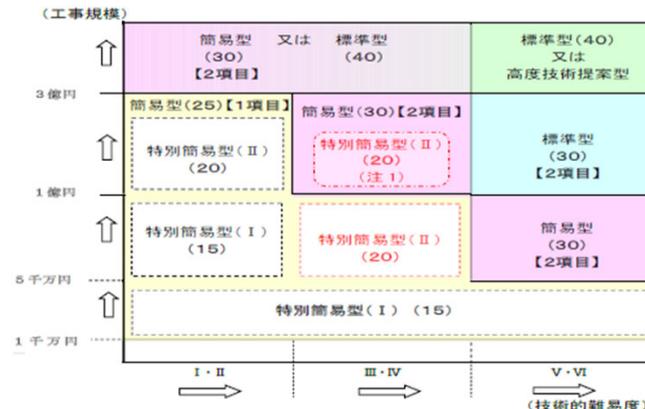
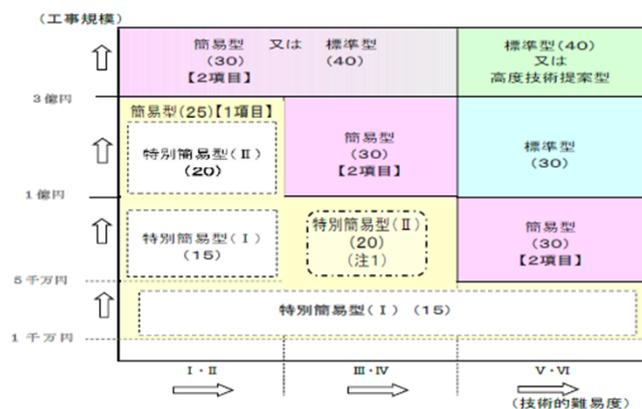
令和6年9月25日
山梨県総合評価委員会
県土整備部技術管理課

1. 総合評価の適用

- ・3千万円以上の工事は、原則、総合評価落札方式による一般競争入札を適用する(解体工事、アスファルト舗装工事は1千万円以上)
- ・適用タイプは、簡易型、標準型または高度技術提案型のいずれかの方式を選択することを基本とするが、「山梨県建設工事総合評価活用ガイドライン」の区分表により「特別簡易型(Ⅰ)または(Ⅱ)」を適用できることとする。

- 災害復旧工事は、迅速かつ円滑な復旧のため、「災害復旧工事に係る入札契約事務処理試行要領」を適用する。
- 解体工事は、安全で確実な施工が必要なため、「山梨県 解体工事(施工体制評価型)総合評価試行要領」を適用する。
- アスファルト舗装工事は、品質が高く、安全で円滑な施工が必要なため、「山梨県「アスファルト舗装工事」(施工体制評価型)総合評価実施要領」を適用する。
- 入札参加者が県外企業のみとなる工事は、下請への県内企業の活用を促進するため、「山梨県「県内下請活用審査型」総合評価試行要領」を適用する。

①総合評価の適用タイプ選定方法の見直し



②工事成績(企業・配置予定技術者)の評価基準の見直し

企業		
評価項目	評価基準	評価点
工事成績	80点以上（算出対象工事が複数件）	4
当該業種での過去※の工事成績評定点の平均点	80点以上（算出対象工事が1件のみ）	3
	77点以上80点未満	2
	72点以上77点未満	1
	72点未満又は成績実績なし	0

配置予定技術者		
評価項目	評価基準	評価点
工事成績	80点以上	3
当該業種での過去※の工事成績評定点の平均点	75点以上80点未満	2
	70点以上75点未満	1
	70点未満又は成績実績なし	0



企業		
評価項目	評価基準	評価点
工事成績	82点以上	4
当該業種での過去※の工事成績評定点の平均点	80点以上82点未満	3
	78点以上80点未満	2
	72点以上78点未満	1
	72点未満又は成績実績なし	0

配置予定技術者		
評価項目	評価基準	評価点
工事成績	82点以上	4
当該業種での過去※の工事成績評定点の平均点	80点以上82点未満	3
	78点以上80点未満	2
	72点以上78点未満	1
	72点未満又は成績実績なし	0

③週休2日制の標準化に伴う評価の解消

令和6年4月からの建設業の時間外労働上限規制の適用に伴い、発注時における完全実施に移行することから、受注者希望型の工事に適用してきた週休2日制宣誓企業への評価は、解消する。

④継続教育(CPD)の取組状況の暫定措置解除

継続教育(CPD)の証明対象期間をコロナ禍前の「過去1年以内」に戻す。

- 令和6年度4月～7月期の意見聴取件数は**291件**(290件+県以外1件)
- 昨年度同期と比べ**35件減少**。

	合計	通常				下請 県内下請 活用審査型	施工体制評価型		建設コンサルタント業務		県以外 市町村・ 道路公社等
		特別簡易型 (Ⅰ)	特別簡易型 (Ⅱ)	簡易型	標準型		アスファルト 舗装工事	解体工事	簡易型	特別簡易型	
意見聴取件数	291件	123件	70件	21件	0件	2件	39件	3件	3件	29件	1件

※R6年7月末集計

道路公社(1件)

意見聴取の回数

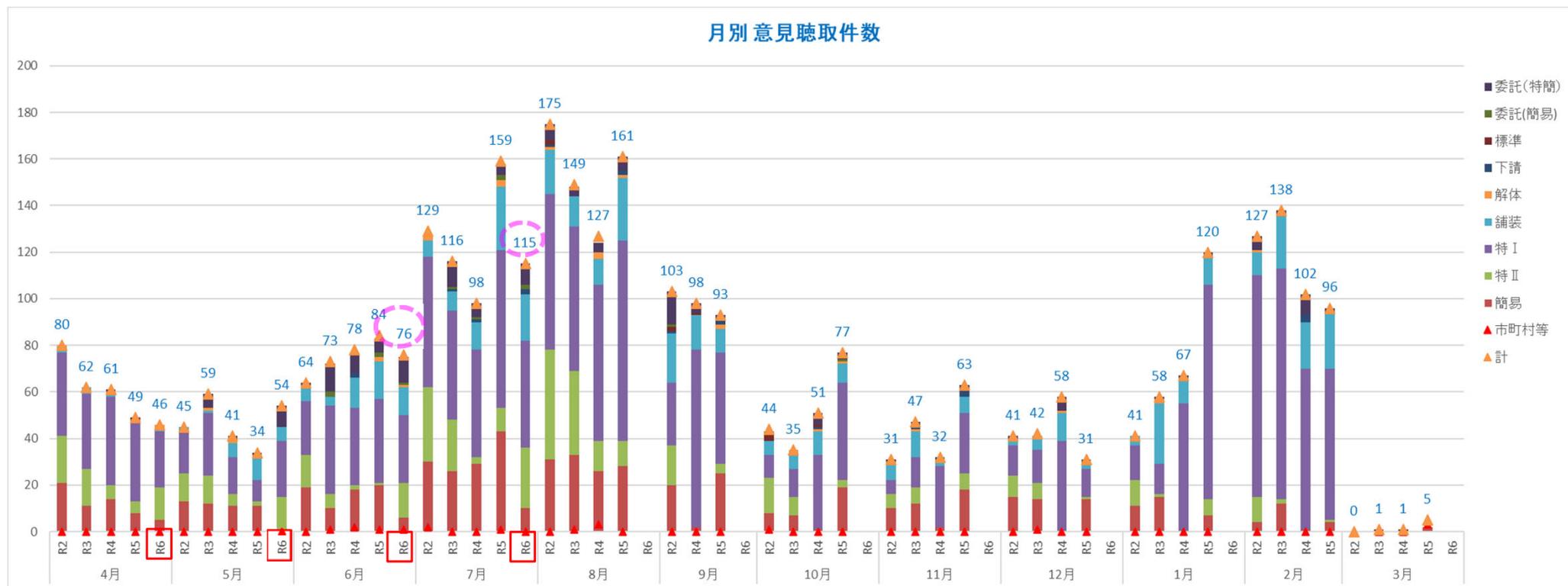
令和6年度4月～7月期は、計**15回**実施。(R5は17回)
そのうち7回は、簡易型(又は標準型)を含む。

4月～7月期 意見聴取件数



1. 意見聴取件数のピークは7月(115件)、次いで6月(76件)
2. 2班体制(2人×2班=4人)での意見聴取を2回実施

※R6.7月末時点



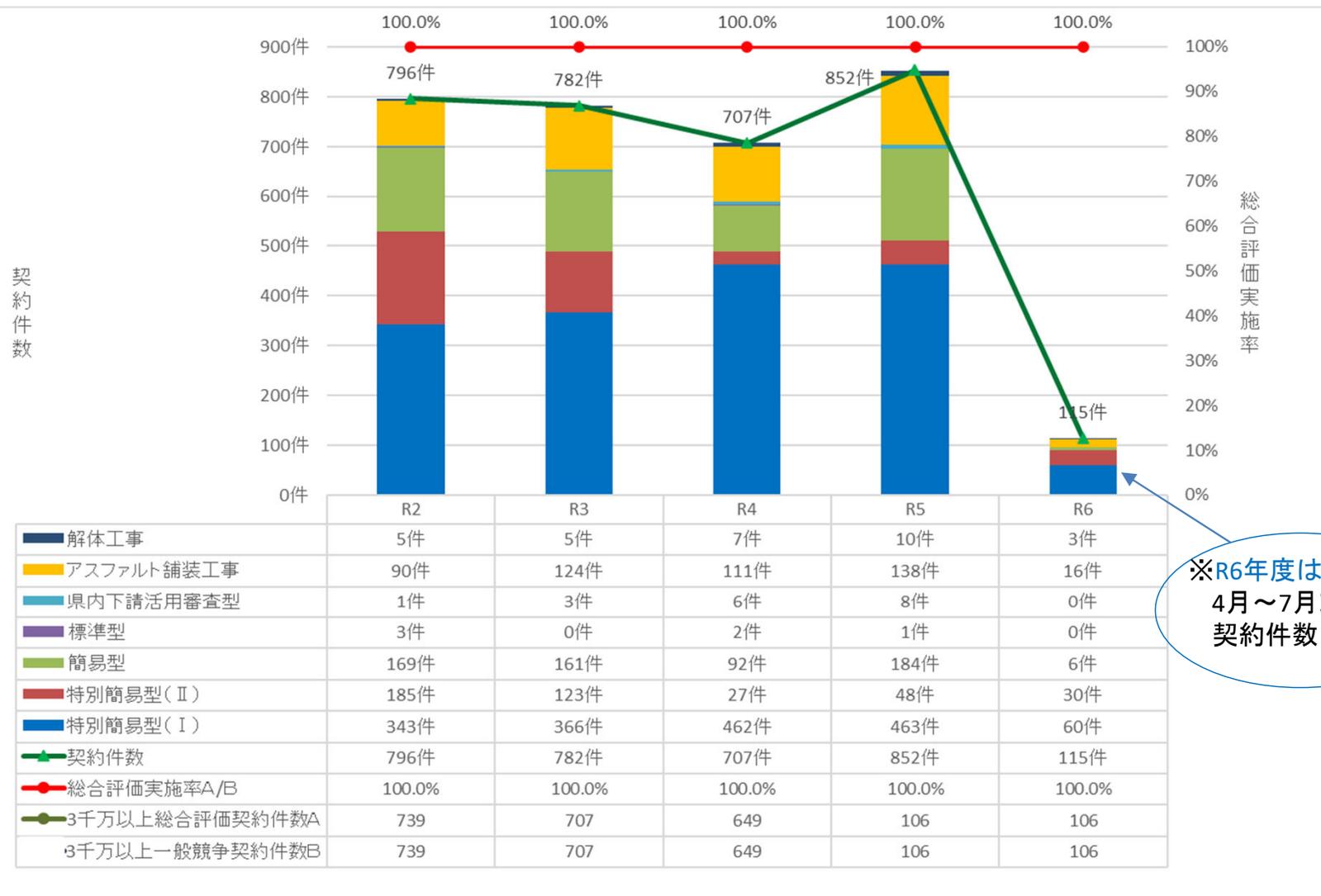
意見聴取件数が多い場合の対応

- ・個別に意見を伺う標準型及び簡易型の件数が12件(概ね2時間)を超えることが予想される場合は、2班に分けて意見聴取する。

総合評価の実施状況(契約件数): 中間報告



- 3千万円以上の工事は原則総合評価落札方式としている。
- 3千万円以上の一般競争入札の工事に占める総合評価の割合は**100%**
 ※ アスファルト舗装工事、解体工事（施工体制評価型）についても、1千万以上の一般競争入札の工事に占める総合評価の割合も **100%**)



※R6年度は中間値
4月～7月末までの
契約件数 115件

※R6年8月1日時点（警察は除く。）

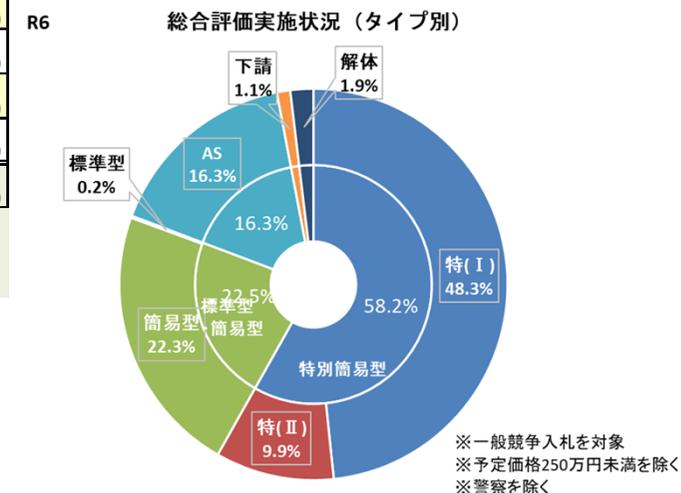
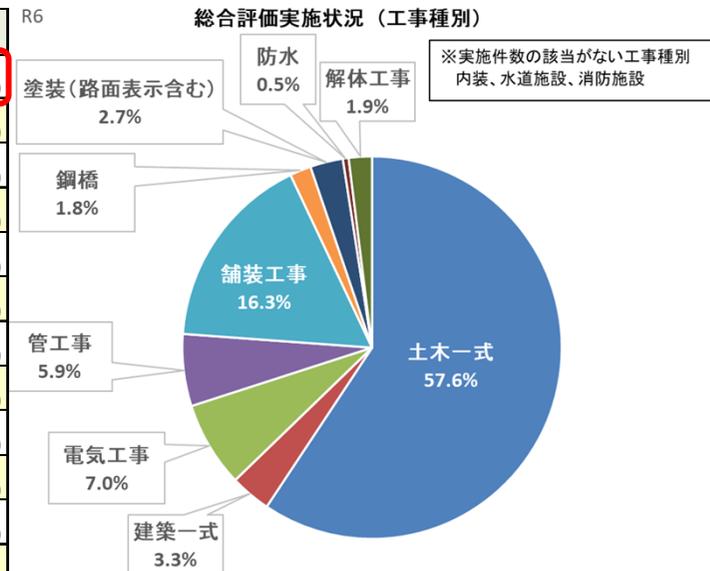
※ここでの総合評価適用率は3千万円以上の一般競争入札に占める割合。

総合評価の実施状況(工種別契約件数): 中間報告



1. タイプ別では、特別簡易型(Ⅰ)が約48%、簡易型が約22%
2. 工事種別では、土木一式が多く、62件/全115件(約54%)

工事種別								件数	
	特(Ⅰ)	特(Ⅱ)	簡易型	標準型	AS	下請	解体	合計	割合
土木一式	45	15	2	0	0	0	0	62	53.9%
建築一式	1	4	0	0	0	0	0	5	4.3%
とび・土工・コンクリート工事	2	0	0	0	0	0	0	2	1.7%
電気工事	5	4	0	0	0	0	0	9	7.8%
管工事	2	7	1	0	0	0	0	10	8.7%
舗装工事	0	0	0	0	16	0	0	16	13.9%
鋼橋	0	0	3	0	0	0	0	3	2.6%
塗装(路面表示含む)	1	0	0	0	0	0	0	1	0.9%
防水	2	0	0	0	0	0	0	2	1.7%
内装	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
機械器具設置	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
電気通信	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
造園	2	0	0	0	0	0	0	2	1.7%
さく井	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
水道施設	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
消防施設	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
解体工事	0	0	0	0	0	0	3	3	2.6%
合計(件数)	60	30	6	0	16	0	3	115	100%
割合	52.2%	26.1%	5.2%	0.0%	13.9%	0.0%	2.6%	100%	
	78.3%		5.2%		13.9%		2.6%		



※R6年8月1日時点
※警察は除く。